

## 第7・8回 宿泊研修

### 宿泊研修1日目 令和元年8月10日（土）

[場 所] K I B O T C H A（キボッチャ） 東松島市野蒜字亀岡80番

[使用したテキスト] 『耕人』8-4号.pdf

[活動内容詳細]

#### ●現地集合・開会式 9:40

今回の宿泊研修は、東日本大震災で被災した東松島市の旧野蒜小学校が全面改装された防災体験型宿泊施設「KIBOTCHA(キボッチャ)」で行われました。

木村塾長から、今回の宿泊研修を通して、絆を深め、塾生一人一人が主体的に取り組むとともに楽しく活動してほしいと励まされました。



塾生と教学委員、運営委員が参加して開会行事が行われました。

#### ●ワークショップ1「あいさつを極めよう」 10:20～10:50

グループごとに、心を込めた返事とあいさつの練習を行い、最後に、練習した成果を発表しました。



はきはきとした声で、「あいさつの実習を始めます。お願いします。」「おはようございます!」「ありがとうございました!」と、発声練習をする塾生たち

**●ワークショップ 2、4「スタッツを考えよう①②」 ①10:50~11:50、②15:30~16:30**

グループごとに、キャンプファイヤーの出し物として、昔話や童話をアレンジした即興劇を作ります。塾生それぞれの持ち味を生かして、①表現能力の向上と創造の楽しさ、②仲間との協力やチームワークの喜び、③自分や仲間の隠された持ち味の発見、④積極性などを身に付けさせることができます。



目的とねらいがあることを教えていただきました。塾生は、動作を確認しながら、指先や姿勢などに気を付け、グループごとに分かれて真剣に練習に取り組みました。

●**昼食（弁当） 12:00**

●**ワークショップ3「防災意識を高めよう」 13:00～15:00**

「KIBOTCHA(キボッチャ)」の名称は、「希望」+「防災」+「Future(未来)」を意味しています。防災の活動を通して、「自らの身を守り乗り切る力」「知識を備え行動する力」などの「自助」と「地域の安全に貢献する心」などの「共助」と「公助」の力と心を身に付ける研修を行いました。



玄関前に集合し、スタッフからKIBOTCHA(キボッチャ)の由来について説明を聞く塾生

### <「ロープワーク」の体験>

避難や救助の仕方でするロープの結び方である「もやい結び」「ふた結び」「本結び」の実技研修を

しました。



### <「応急担架の作り方」の体験>

緊急時の応急措置として、毛布やシートなどを使った担架の作り方を行いました。

### <「匍匐（ほふく）前進」の体験>

突発的に発生する爆発や火災などに遭遇した時、とっさに「伏せる」、少しでも安全な所へ「移動する」、機を見て「現場から脱出する」などの対応が考えられます。そこで、自らの命を守るために、腹這いになって手と足（膝）で地面をすするように前進する体験を行いました。



### ●ワークショップ5「奥松島の自然を体感しよう」 17:00～19:00

大高森は、東松島市の宮戸島にある山で、古くから日本三景・松島を眺望する地として知られています。その眺望は「壮観」として松島四大観の1つに数えられています。塾生は、松島湾の島々を一望できる標高105.8mの小高い山の頂にある展望台から夕日の美しさを眺め、感動を共有することができました。



自然の中を歩くこと約20分。大高森の頂上付近からは、360度の大パノラマ絶景を眺望できます。壮大な景色の眺めに感動する塾生たち。

日が沈むとともに松島湾が夕焼けに染まり、いくつも浮かぶ小島の影が絶妙のコントラストを生み出しています。美しい景色は、塾生一人一人の心に刻み込まれたに違いありません。

**●夕食（食堂） 19:10～**

夕食で元気回復です。おいしくいただきました。

ご飯とお味噌汁の他、おかずは天ぷら、お刺身、肉料理など6品。全員が完食です。

**●ワークショップ6「夜を楽しもう」 20:00～  
＜キャンプファイヤーとスタンプの発表＞**



厳粛な雰囲気の中でキャンプファイヤーのセレモニーが開始されました。



楽しい出し物で盛り上がるスタンプの発表。塾生の表現力や企画力などが発揮されました。

### <花火を楽しもう>



線香花火をしながら語り合い、塾生同士の絆を一層深めることができました。

## 宿泊研修 2 日目 令和元年8月11日（日）

### ●ワークショップ7「野蒜の町を歩こう」 6:00～7:00

新しい野蒜駅周辺のごみ拾いをしながら散策しました。



新しい野蒜駅周辺はきれいに整備されていました。



「東日本大震災復興祈念公園」から旧野蒜駅方面を眺める塾生たち。

●朝食（食堂）7:00

●ワークショップ8「刺し網漁体験をしよう」 9:00～10:30

刺し網漁は、地元漁師が行っている沿岸漁業の一般的な漁法です。前もって仕掛けた刺し網を引き揚げます。塾生は、網に絡まっている魚や蟹などに触りながら、貴重な漁師の体験を行いました。





生きている蟹に触るのが怖かった塾生も慣れてくると作業も素早くできるようになりました。

## ●閉会式 11:00

### ●振り返り・まとめ

宿泊研修を通して、防災学習や漁師体験など地域との関わりを意識しながら、多様な価値観を吸収することができました。今回の宿泊活動を機会に、塾生同士が磨き合い、今後の実践活動に生かしていきたいと思います。

## メニュー

ホーム

耕人塾の活動

令和2年度の活動

令和元年度の活動

第13回「耕人塾」第8期 閉塾式

第12回

第11回

第10回

第9回 実践活動

第7・8回 宿泊研修

第6回 実践活動

第5回

第4回 実践活動

第3回

第2回

第1回 開塾式

平成30年度の活動

平成29年度の活動

平成28年度の活動

平成27年度の活動

平成26年度の活動

平成25年度の活動

平成24年度の活動

報道・受賞